

感 染 症 科

1 教育目標

(1) 一般目標

基礎医学や臨床講義で学習した感染症疾患全般に関する基本的知識を活用して、診断、治療、予防等について体系的に学習することを目標とする。具体的には、病原微生物の種類、病原性、特徴といった臨床微生物に関する知識と感染症発症にかかわる宿主の状態を理解して、各種感染症の診断法の選択と結果の解釈を適切に行い、治療に反映させ、さらに、外因性感染予防策や内因性感染予防策などの感染予防策をとることができるようにすることを目標とする。一部の迅速検査などの検査に関しては、自身で実施することができるようにすることも目標である。単一臓器の感染症だけではなく、各診療科横断的な感染症の診察ができるようにする。また、漢方医学的診察は西洋医学的診察においても学ぶところが大きいことから、腹診・舌診についても学ぶ。

(2) 行動目標

【クリニカル・クラークシップA・B共通】

1. 感染症を前提とした適切な病歴聴取・診察ができる。
2. 鑑別疾患を考えて必要な検査をオーダーし、それらの結果の解釈ができる。
3. 原因微生物検索のためのグラム染色検査、迅速診断検査等については自ら実施し判定できる。
4. 頻度の高い感染症疾患について標準的な治療法、予後を説明できる。
5. 抗感染薬・ステロイド等の具体的使用方法について説明できる。
6. 医療関連感染の標準予防策および基本的な感染経路別予防策を実施できる。
7. 漢方医学的診察（腹診・舌診など）による所見をとることができる。

【クリニカル・クラークシップA】

8. ワクチン接種（皮下注・筋注）ができる。
9. 鼻咽頭ぬぐい液の採取ができる。

【クリニカル・クラークシップB】

10. 自らが感染症患者の主治医となった前提で行動し、考え、診療録を作成することを基本とする。
11. 感染症検査の基本を習得する。
12. 感染制御の基本的事項を習得する。
13. 患者およびメディカルスタッフと良好な人間関係を築く。
14. 医師、看護師、臨床検査技師、事務職などを含めたチーム医療を実践する。

態度

【クリニカル・クラークシップA・B共通】

1. 感染症患者の診療に医療チームの一員として加わる。
2. 担当医と連絡を取り合い、検査・治療など日常診療に参加する。
3. 典型的な症例についての診断と治療に関する具体的計画を立案できるよう訓練を行う。
4. ICT（Infection Control Team）活動、AST（Antimicrobial Stewardship Team）活動に参加する。
5. 感染症検査に関する実習を行う。

【クリニカル・クラークシップB】

6. 実際の症例で診療記録を作成する。
7. 回診や症例検討会等でプレゼンテーションを行う。
8. 指導医の外来診療に加わる。
9. AST 活動を実践する。
10. 感染症検査に関する実習を行う。

知識

【クリニカル・クラークシップA・B共通】

1. 臨床検体から原因微生物を同定するまでの過程を学ぶ。
2. 臨床微生物学的検査法の選択とその評価、偽陰性・偽陽性となる要因の評価を学ぶ。
3. 免疫低下宿主となる要因について習得し、予防投薬の必要性や選択、投与量について学ぶ。
4. 血流感染症に関して、適切な検体採取や採取の時期、コンタミネーションの評価、治療方法を学ぶ。
5. 呼吸器感染症に関して、診断における適切な検査方法、原因微生物の特性、感染予防策の実施法について学ぶ。
6. 尿路感染症の病態、診断方法、治療方法について理解する。
7. 手術部位感染の原因微生物の評価と治療法(抗微生物療法と抗微生物薬によらない治療法)について習得する。
8. 真菌感染症に特異的な検査方法とその結果の解釈法、治療方法について理解する。
9. 感染症症例の診断および治療技術を習得する。治療方針の定まっていない感染症症例の診断、治療方針を策定し、検査日程、治療の開始時期、治療期間の推定、治療方法の選択、予想される予後などについて他者に説明できるようにする。
10. 標準予防策を基本として、接触予防策、飛沫予防策、空気予防策を説明できるようにする。
11. 新興感染症や原因不明の病原体に対する感染予防策を理解し、医療従事者に感染対策について指導できるようにする。
12. 感染性廃棄物の取り扱い方法を学ぶ。
13. 病院感染対策とリスクマネジメントの重要性を理解する。実際の医療施設関連感染問題に対して、有効な感染対策の立案と実施計画の策定および立案した対策の評価ができる。
14. 漢方医学的診察の基本である腹診・舌診の基本を習得する。

【クリニカル・クラークシップB】

15. 迅速検査法、ベッドサイドで実施可能な簡易検査法(グラム染色、チールニールセン染色、尿中抗原など)の実施と評価を行う。
16. 海外旅行時の感染症患者の診療方法を理解する。あわせて必要な予防接種についても学ぶ。
17. アウトブレイクの早期発見方法を理解し、習得する。
18. 腸内細菌叢と各種疾患の関わりを理解する。

技能

【クリニカル・クラークシップA・B共通】

1. 内科学的診察の基本を習得する。
2. 迅速検査法、ベッドサイドで実施可能な簡易検査法(グラム染色、チールニールセン染色、尿中抗原など)の実施と評価を行う。
3. 感染症アウトブレイクの早期発見方法を理解し、習得する。
4. 漢方医学的診察の基本である腹診・舌診の基本を習得する。

【クリニカル・クラークシップA】

5. ワクチン接種(皮下・筋注)を習得する。
6. 鼻咽頭ぬぐい液の採取を行う。

【クリニカル・クラークシップB】

7. 自らが感染症患者の主治医となった前提で行動し、考え、診療録を作成する。
8. 感染症検査の基本を習得する。
9. 感染制御の基本的事項を習得する。
10. 患者およびメディカルスタッフと良好な人間関係を築く。
11. 医師、看護師、臨床検査技師、事務職などを含めたチーム医療を実践する。

2 実習要領

【クリニカル・クラークシップA・B共通】

1. 病棟ラウンドに随行して、感染症コンサルテーションの実際を見学し、感染症患者の診察・治療法・適切な感染予防策（ワクチンを含む）について学ぶ。さらに、薬物血中濃度モニタリング（TDM）の実際についても学ぶ。
2. 微生物検査室および遺伝子検査室において、臨床検体から原因微生物を同定する方法と過程について学ぶ。さらに、迅速検査法、ベッドサイドで実施可能な簡易検査法（グラム染色、チールニールセン染色、尿中抗原など）についても習得する。
3. 西洋医学的診察にも応用できる漢方医学的診察法についても基本を習得する。
4. 感染症コンサルテーション症例についてレポートを作成し、感染症患者の診察法、医療関連感染対策の重要性を学ぶ。

【クリニカル・クラークシップA】

5. 学生間でワクチン接種（皮下注・筋注）の訓練を行う。
6. 学生間で鼻咽頭ぬぐい液の採取を行う。

【クリニカル・クラークシップB】

7. 感染症患者の診療に医療チームの一員として加わる。
8. 担当医と連絡を取り合い、検査・治療など日常診療に参加する。
9. 回診や症例検討会等でプレゼンテーションを行う。
10. 典型的な症例についての診断と治療に関する具体的計画を立案できるよう訓練を行う。
11. 指導医の外来診療に加わる。
12. ICT 活動に参加する。
13. 感染症検査に関する実習を行う。

3 実習の評価方法

クリニカル・クラークシップAでは、出席、実習態度、プレゼンテーション、ディスカッションなどで総合的に評価する。

クリニカル・クラークシップBでは、特に、出席、実習態度、基礎的な知識などを評価する。さらに、毎週金曜日午後には口頭試問により習得度について評価を加える。病院見学は、原則として愛知医科大学の規程範囲内であれば認める。

4 クリニカル・クラークシップ指導連絡員

職 名	教 員 名
教 授	三鴨 廣繁
准 教 授	浅井 信博

5 連絡先

場所（内線）	22353
E-mail	mikamo@aichi-med-u.ac.jp

【初日の集合時間／場所】

8:20／中央棟 2階 感染管理室

【祝日の場合】 ※木曜日

8:20／中央棟 2階 感染管理室

6 クリニカル・クラークシップA 週間予定表

曜日	午 前			午 後		
	内 容	担当者	実習室	内 容	担当者	実習室
月	(産婦人科)			(産婦人科)		
火	(産婦人科)			(産婦人科)		
水	<p>【第1週目】 A班:感染症科 B班:産婦人科※</p> <p>【第2週目】 A班:産婦人科※ B班:感染症科</p> <p>集合(8時20分)</p> <p>8時30分～ICUカンファレンスに参加</p> <p>AST活動(コンサルテーション)の実際(診療録作成。適宜、病棟で患者診察。)</p> <p>11時30分～感染制御の基本</p>	<p>三嶋廣繁 浅井信博 柴田祐一</p> <p>三嶋廣繁 浅井信博 柴田祐一</p> <p>感染管理認定看護師</p>	中央棟2階 感染管理室	(産婦人科)		
木	<p>【第1週目】 A班:感染症科 B班:産婦人科※</p> <p>【第2週目】 A班:産婦人科※ B班:感染症科</p> <p>集合(8時20分)</p> <p>8時30分～ICUカンファレンスに参加</p> <p>AST活動(コンサルテーション)の実際(診療録作成。適宜、病棟で患者診察。)</p> <p>11時30分～TDMの基本</p>	<p>三嶋廣繁 浅井信博 柴田祐一</p> <p>三嶋廣繁 浅井信博 柴田祐一</p> <p>柴田祐一</p>	中央棟2階 感染管理室	(産婦人科)		
金	(産婦人科)			(産婦人科)		

※産婦人科実習の詳細は「産科・婦人科」の頁を確認すること。

7 クリニカル・クラークシップB 週間予定表

基本的には担当医の指示のもと行動する。

症例検討，教授回診など参加すべき定期的実習・演習のみを示す。

【初日の集合時間／場所】

8:20／中央棟2階 感染管理室

【祝日の場合】※火曜日

8:20／中央棟2階 感染管理室

曜日	午 前			午 後		
	内 容	担当者	実習室	内 容	担当者	実習室
月	8時20分 集合 8時30分～ICUカンファレンス に参加 担当症例の診断・治療	三嶋廣繁 浅井信博 柴田祐一	感染管理室 ICU, HCU 適宜、病棟	担当症例の診断・治療	浅井信博 柴田祐一	感染管理室 適宜、 ICU, HCU, SICU, TACU, 病棟
火	8時20分 集合 8時30分～ICUカンファレンス に参加 担当症例の診断・治療 外来見学	三嶋廣繁 浅井信博 柴田祐一	感染管理室 ICU, HCU 適宜、病棟 28 外来2 診	病院内環境ラウンド	三嶋廣繁 浅井信博 柴田祐一 ICT	病院内
水	8時20分 集合 8時30分～ICUカンファレンス に参加 担当症例の診断・治療 外来見学	三嶋廣繁 浅井信博 柴田祐一	感染管理室 ICU, HCU 適宜、病棟 28 外来2 診	感染症検査の実践 (原則1クール中に2回。学生 希望により回数を増やすことも できる。)	大田浩敏 中村明子	感染検査室
木	8時20分 集合 8時30分～ICUカンファレンス に参加 担当症例の診断・治療	三嶋廣繁 浅井信博 柴田祐一	感染管理室 ICU, HCU 適宜、病棟	担当症例の診断・治療	三嶋廣繁 浅井信博 柴田祐一	感染管理室 適宜、 ICU, HCU, SICU, TACU, 病棟
金	8時20分 集合 8時30分～ICUカンファレンス に参加 担当症例の診断・治療	三嶋廣繁 柴田祐一	感染管理室 ICU, HCU 適宜、病棟	担当症例の診断・治療 指導医による試問を実習中に 適宜複数回実施する	三嶋廣繁 柴田祐一 三嶋廣繁 柴田祐一	感染管理室 適宜、 ICU, HCU, SICU, TACU, 病棟 感染管理室